

「とくしま食材フェア2017」に出展しました

＜四国東部農地防災事務所＞

四国東部農地防災事務所は、11月18日(土)、19日(日)に、とくしま地産地消推進協議会が主催する「とくしま食材フェア2017」に徳島県・徳島支局とともに出展し、吉野川下流域農地防災事業のPR活動を行いました。

当事務所のブースでは、吉野川下流域地区の農業や当事務所の事業を紹介するパネル展示、田んぼや水路に住む生き物展示のほか、「おっ！？やさいつりゲーム」と題した野菜の釣り堀ゲームを行いました。土曜日はあいにくの悪天候となってしまう、イベントそのものへの来場者も少なかったですが、日曜日は天候に恵まれたためか多くの来場者があり、当事務所のブースも大盛況となりました。2日間で合計300名以上の方に当事務所のブースに足を運んでいただくことができ、多くの方に吉野川下流域農地防災事業のPRをすることができたと思います。来場者をお願いしたアンケートでも、「農業用の水路は今まで知らなかった」、「いろいろなことがわかったのしかったです」、「水路のことなどがしれてよかった」、「知らないことがたくさんあっておもしろかったです」「分かりやすく説明されていて楽しかったです」といったコメントをいただきました。

当事務所では昨年11月より、徳島県農林水産部・徳島支局の職員とともに月1回程度の頻度でワークショップ(以下WSと呼ぶ)を開催し、国営事業や徳島の農業の効果的なPR方法について検討を重ね、地域のイベントへ積極的に出展を行ってきました。今回の出展は、5月の「大鳴門鯛祭り&鳴門市農水産物フェア」、10月の「藍住町農業振興祭」に続く今年度3回目のイベントへの出展であり、また、今年度最後のイベント出展ということで、これまで行ってきたWSの集大成となるものでした。これまでのWSやイベントへの出展の積み重ねにより、子供にも楽しんで見てもらえるよう工夫した事業紹介パネルや、ブースに足を運んでもらうための方法として考えた釣り堀ゲーム、そして釣り堀ゲームで遊びに来た人にパネル展示も見てもらうためのブースのレイアウトや動線作り等、地域のイベントに出展する際にブースを訪れる幅広い方へ事業のPRを行う方法を、自分達のなかで確立することができました。県・支局と協力しながら広報活動を行ってきたことで、事務所単独では生まれなかったようなアイデアが生まれ、内容としても多角的な広報を行うことができたと思います。

1年余りの間行ってきたWSは、今回のイベントをもってひとまず解散となりますが、交流の機会を引き続き設けていくことができると考えております。また、広報については、来年度に向けて、よりよい事業PR方法の検討を引き続き行っていきたいと思います。



参加した職員の一部



パネル展示の様子



釣り堀ゲームとブースの様子